

昌子の広場 第258報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10
自宅Tel 0725-54-2626
Fax 020-4669-6920
事務所Tel(Fax)0725-53-4451
Email masakokob@yahoo.co.jp
http://masako-hiroba.info/
ホームページもご覧下さい



目次

- ・令和6年度予算が可決 P1
- ・令和6年度予算の重点項目 P2-3
- ・実質的債務の状況、予算を家計に例えたら P4

**令和6年度予算が可決
令和6年度予算の重点項目
実質的債務の状況、予算を家計に例えたら**

令和6年度予算が可決されました。対前年度85億円の大増

単位百万円

	令和6年度	令和5年度	増減	増減率(%)
一般会計	81,600	73,100	8,500	11.6
特別会計	41,073	40,512	561	1.4
①国民健康保険事業	19,788	20,494	▲706	▲3.4
②公用地先行取得事業	922	1,171	▲249	▲21.3
③介護保険特別会計	16,846	16,003	843	5.3
④後期高齢者医療事業	3,516	2,843	673	23.6
⑤浄化槽事業	0	0	0	0.0
企業会計	14,474	14,533	▲59	▲0.4
①水道事業	5,200	5,157	43	0.8
②公共下水道	6,796	6,935	▲139	▲2.0
③公共浄化槽事業	43	52	▲9	▲16.5
④病院事業	2,432	2,388	44	1.9
総合計	137,147	128,146	9,001	7.0

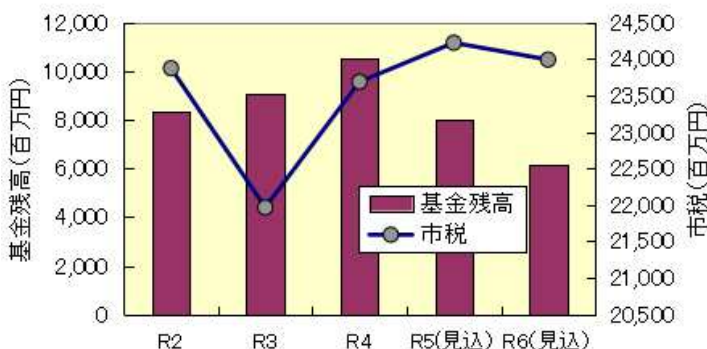
令和6年度予算が可決されました。総額で1371億円、一般会計は816億円で前年度比大増です。財源対策として貯金を取り崩し基金からの繰入47億円、借金である市債の発行53億円等で賄う厳しい予算です。（予算項目の詳細は次頁以降で紹介）

コロナ禍の影響で一時市税収入が大幅に減少しましたが、コロナの落ち着きとともに税収が増加基調でしたが、今期は微減となりました。（市税収入前年度比▲1.0%）

一方市の貯金にあたる基金残高は令和4年度から市税収入が増加しているにもかかわらず減少しています。（但しR5,R6年度は決算の不用額等により回復見込）

コロナの収束が一定程度期待できますが、今期の歳出増もあり、今後も財政運営は厳しい状況が続くと思います。又市民の利便性向上のため「書かない窓口」システムの構築が提案されています。

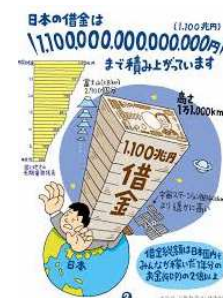
市税と基金残高の推移



基金残高の状況

(単位百万円)

	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末 (見込)	R6年度末 (見込)
基金残高	8,309	9,070	10,539	8,004	6,158
R4決算見込みベースにおける 収支見直し	8,309	9,070	10,539	11,035	10,728
ふるさと元気基金の推移	2,508	3,188	3,564	3,869	3,951



令和6年度の重点事業について

令和6年度重点事業は

学校教育・生涯教育環境の充実

- 小中一貫校（仮称槇尾学園）の整備 2296百万円
- 富秋中学校区施設一体型学校整備事業 150百万円
- 学力向上推進事業 154百万円
- 学校給食環境の充実 82百万円
- 久保惣記念美術館茶室改修事業 87百万円



出産・子育て環境の充実



- 医療的ケア機能を備えた民間保育施設 40百万円
- 北西部公立認定こども園整備事業 65百万円
- 認定こども園等整備補助事業 282百万円
- 待機児童解消の取組 75百万円

賑わいのある街づくり



- JR阪和線北信太駅前整備事業 932百万円
- 松尾寺公園整備事業 184百万円
- 自転車活用推進計画策定事業 17百万円
- 松尾寺農道市道化事業 24百万円
- 和泉中央線渋滞対策事業 13百万円
- 信太山丘陵里山自然公園整備事業 257百万円
- 来訪促進事業 8百万円

連携・協働と安全・あんしのまちづくり



- 和泉中央駅ホームドア設置補助事業 41百万円
- 消防本部・消防署移転整備事業 1847百万円
- 学校体育館等空調設備整備事業 1401百万円
- 高規格救急車・消防ポンプ更新事業 109百万円

健康・福祉施策の充実

- 老人集会所活性化事業 85百万円
- 心不全検査事業 16百万円
- 地域包括支援センター事業 112百万円
- 健康増進計画等策定事業 12百万円
- 成年後見制度人材育成事業 5百万円
- 重度障がい者大学就学支援事業 6百万円



その他重点事業

- 富秋中学校区まちづくり構想の推進 653百万円
- 庁舎第1分館改修事業（北西部地域公共施設再編成事業） 29百万円
- デジタルトランスフォーメーション推進事業 96百万円
- 池上曽根史跡公園整備事業 244百万円
全国に誇る歴史・文化拠点である池上曽根史跡公園について、幅広い人に愛される新たな交流拠点とするため、令和8年リニューアルオープンを目指し、整備工事に着手



その他の事業

①「チーム学校」体制の強化	21百万円
②中学校部活動地域移行計画策定	17百万円
③北部総合スポーツセンター基本構想策定	20百万円
④歴史資料公開事業	21百万円
⑤久保惣記念美術館運営ビジョン策定	5百万円
⑥認可外保育施設利用者負担軽減	2百万円
⑦こども計画策定事業	9百万円
⑧こどもメンタルヘルス巡回事業	0.2百万円
⑨障がい者合理的配慮提供促進事業	1百万円
⑩自殺対策相談員の配置	4百万円
⑪地域助け合いAED推進事業	3百万円
⑫特殊詐欺対策事業	3百万円
⑬河川施設点検事業	7百万円
⑭街路樹管理事業	122百万円
⑮鶴山台配水場更新事業	76百万円
⑯大阪/関西万博こども入場料支援	34百万円
⑰友好姉妹都市提携事業	6百万円
⑱ホストタウン事後交流事業	7百万円
⑲省エネ家電買替促進事業	100百万円
20 第6次和泉総合計画策定事業	25百万円

歳入確保・コスト削減に向けた取組

①未利用地の売却	368百万円
(売却予定) 伯太幼稚園跡地、伯太防災広場北側用地、松尾出張所跡地、伯太第二改造住宅跡地	

ふるさと納税制度について(昨年度迄の実績から)

高額返礼品が問題となり制度の見直しが行われたふるさと納税制度ですが、和泉市の収支は下表の如くになっています。前年に比べ当市への寄付が大幅に減少し、その結果損益は再び赤字となり、国からの地方交付税措置(市税減少分の75%を補填)によりなんとか黒字を保っている状態です。

(百万円)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
当市への寄付 (a)	196.1	524.7	858.7	669.3
他市への寄付に伴う市税還付 (b)	▲ 361.3	▲ 443.6	▲ 540.4	▲ 627.1
返礼品費用 (c)	▲ 84.3	▲ 228.4	▲ 256.1	▲ 301.2
損益 (d)=(a)-(b)-(c)	▲ 249.5	▲ 147.4	62.3	▲ 259.0
地方交付税措置 (e)	271.0	332.7	405.3	470.3
実質損益 (f)=(d)+(e)	21.5	185.4	467.6	211.1

市債の状況

市債現在高の状況

(単位百万円)

	R2年度末 現在高	R3年度末 現在高	R4年度末 現在高	R5年度末 (見込み)	R6年度末 (見込み)	差引 (R5-R4)
一般会計	44,442	42,825	39,512	40,048	39,834	▲ 214
うち臨時財政対策債	21,124	19,353	16,739	14,503	12,360	▲ 2,143
上記以外	23,318	23,472	22,773	25,545	27,474	1,929
公用地先行取得事業特別会計	1,205	1,228	1,431	1,859	1,971	112
浄化槽特別会計	43	48	0	0	0	0
水道事業会計	2,246	1,986	1,718	1,462	1,888	426
公共下水道事業会計	23,791	22,968	22,004	21,447	20,496	▲ 951
公共浄化槽事業会計			48	52	56	4
病院事業会計	14,753	14,600	13,522	12,735	12,014	▲ 721
合計	86,480	83,655	78,235	77,603	76,259	▲ 1,344

市の借金にあたる市債は

25年度からほぼ90億円前後で推移しています。このうちの20億円の臨時財政対策債は国の地方交付税の財源が不足したとき、その穴埋めとして地方債を発行させる制度。償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源とみて差し支えありません。但し国が約束を守った時に成り立つ話で、予断を許しません。

借金（地方債）の状況の評価

借金を評価する指標として、（地方債現在高-財政調整基金残高）を標準財政規模で除した値を比較したのが下表です。（令和3年度決算）

順位	自治体	地方債残高	財政調整基金残高	実質債務
		(a)	(b)	(a)-(b)
1	泉佐野市	252.40%	6.90%	245.5%
2	高石市	246.50%	16.10%	230.4%
3	泉南市	188.50%	9.00%	179.5%
4	箕面市	193.70%	17.60%	176.1%
5	門真市	180.70%	8.00%	172.7%
6	守口市	176.20%	13.10%	163.1%
7	交野市	175.20%	25.40%	149.8%
8	忠岡町	164.20%	14.40%	149.8%
9	岬町	167.30%	17.80%	149.5%
10	能勢町	186.60%	38.20%	148.4%
11	八尾市	155.90%	12.10%	143.8%
12	貝塚市	162.60%	20.30%	142.3%
13	島本町	164.80%	23.50%	141.3%
14	松原市	148.60%	9.40%	139.2%
15	東大阪市	150.90%	15.40%	135.5%
16	柏原市	144.90%	14.30%	130.6%
17	池田市	150.80%	20.80%	130.0%
18	泉大津市	152.60%	24.20%	128.4%
19	阪南市	135.00%	8.50%	126.5%
20	羽曳野市	143.60%	19.60%	124.0%
21	枚方市	137.80%	16.50%	121.3%
22	河内長野市	129.30%	11.10%	118.2%
23	岸和田市	129.50%	11.40%	118.1%
24	藤井寺市	125.10%	10.30%	114.8%
25	河南町	139.70%	27.40%	112.3%
26	大東市	130.90%	19.20%	111.7%
27	和泉市	117.70%	11.40%	106.3%
28	富田林市	123.10%	16.90%	106.2%
29	大阪狭山市	125.70%	23.20%	102.5%
30	千早赤阪村	148.30%	46.50%	101.8%
31	四條畷市	111.20%	18.10%	93.1%
32	熊取町	103.60%	10.90%	92.7%
33	寝屋川市	118.20%	27.90%	90.3%
34	豊能町	114.70%	26.30%	88.4%
35	太子町	125.60%	39.70%	85.9%
36	豊中市	99.00%	14.60%	84.4%
37	茨木市	83.80%	13.70%	70.1%
38	摂津市	96.00%	36.50%	59.5%
39	吹田市	70.10%	16.40%	53.7%
40	高槻市	61.20%	22.90%	38.3%
41	田尻町	5.80%	112.20%	-106.4%

財政が厳しいといわれている泉佐野市が最悪、続いて高石市が第2位です。その中で和泉市は27位と借金が少ないほうです。しかし和泉市の標準財政規模は374億円（令和3年度決算）ですので実質借金は398億円と巨額で予断を許しません。

30万円の家計に例えたら

今回の予算を30万円の家計に例えたら、下表のようになります。自前の収入である給与収入は95千円と約1/3しかなく、その他は親からの収入や借金に依存する極めて脆弱な家計となっています。



市の歳入(単位百万円)		家計の収入(単位千円)		
市税	23,992	給与収入	25,945	95.4
使用料・手数料・分担金 負担金・諸収入	1,953	その他の臨時収入	2,430	8.9
寄付金・財産収入	2,430	貯金の取り崩し	4,657	17.1
繰入金	4,657	地方からの仕送り	43,246	159.0
地方交付税	10,000	借金	5,319	19.6
地方贈与税・各種 交付金・ 国府支出金	33,246	歳入計	81,597	300.0
地方債	5,319	収入計	81,597	300.0
歳入計	81,597			

昌子の日記&予定

- 3/1 社会教育委員会傍聴
- 3/2 ソロプチバザー出店
- 3/3 農園総会
- 3/4-8 予算委員会傍聴
- 3/12 議会運営委員会傍聴
- 3/13 石尾中学校卒業証書授与式
- 3/15 緑ヶ丘小学校卒業証書授与式
- 3/19 本会議（一般質問）
- 3/21 和泉府中駅会報配布、本会議（一般質問）
- 3/22 和泉中央駅会報配布、本会議（一般質問）
- 3/25 北信太駅会報配布、本会議
- 3/26 和泉府中駅会報配布
- 3/27 和泉府中駅会報配布
- 3/28 和泉中央駅会報配布、緑ヶ丘女性消防クラブ例会、子ども食堂
- 3/29 信太山駅会報配布

